

常照

第828号

お経に会う

お坊さんが「ニヨーゼーガーモン、イチジーブツ」と読んでいる声だけを聞いてみると、お経には訳のわからないことが書かれているように思いかもしれません。

しかし、お経には迷い苦しみを越えていく釈尊の教えが説かれています。

いわば釈尊からのメッセーじが詰まっているのです。ですから、お経を読むということは、本来は

釈尊の教えに出会うことなのです。

ところが、私たちは自分が迷いの人生を送っているとは、日ごろ思っています。そのため、自分がお経に出会う必要があると感じておらず、他人事のように考えています。亡くなった人にお経を読んでもあげないといけないというのも、そのあらわれです。亡くなった人がお経を聞いているかどうかを、確かめたことがないにもかかわらずです。

ましてや、お経をお坊さんだけに読ませて、自分は聞くこともなく済ませているのであれば、それは亡くなった人を大事にしているわけではありません。単に自分がすつきりしたいだけの気やすめにする

ぎません。お経はどこまでも、私
たちに対する呼びかけであるとい
うのが大事な点です。

たとえば、親鸞聖人が真実の教
と仰いだ『大無量寿経』には、次
のような言葉があります。

「吉凶禍福(きつきょうかふく)、

競(きそ)いておのおの之(これ)

を作(な)す。

一(ひとり)も怪しむ

ものなきなり。」

これは、吉凶や禍福にとらわれて
いる人間の姿を教えようとする釈
尊の言葉です。自分に都合の良い
ことばかりを追い求め、お互いに
競い合い、しかも自分のしている
ことを正しいと信じ込んで怪しむ

こともない生き方が見据えられて
います。

日ごろは疑ったこともない自分
の生き方を見つめ直すこと、これ
がお経との出会いによって始まる
のです。この意味で、お経は私た
ちの生き方を照らし出すものだと
いえます。

亡き人を縁として

「五代前の先祖がたたつていま
すよ」と言われると、ドキッとす
る人は多いかもしれません。しか
し、「亡くなつたお母さんがたた
つていますよ」と言われればどう
でしょう。ほとんどの人は、「私
のお母さんはそんな人ではありま
せん」と怒り出すのではないでし
ょうか。つまり、先祖が迷ってい

るとか、崇っているというのは、亡くなった人のことをはつきりとして受け止められていない私たちの心のすき間につけ込んでくるものなのです。

そして、ほとんどの場合、それにはお金がからんでいます。

亡くなった人は、すでに喜怒哀楽はありません。ですから、お内仏（仏壇）に何々を供えろということはありません。また言うことをきかないと化けて出るぞということも言いません。にもかかわらず、生きている私たちの方が、亡くなつた人をどうにかしないといけないと勝手に思いはからっているのです。

それは、一見すると亡くなった人を大切にしているようですが、実は自分の人生を守ってもらいた

いという気持ちや、災いが自分におよぶことを恐れる気持ちからきていることが多いのではないのでしょうか。お祓（はら）いななどが流るのもこのためです。

亡くなった人は、自らの身をもつて、人は必ず命を終えていかねばならないということを教えてくれています。限りある人生をどのように生きるのかと呼びかけているのです。近しい人の死は、特にこのことを感じさせられます。亡き人と向き合うことにより、私たちは初めて自分の人生についてよく考えることができるのです。

お墓参りに出かけるのも、法事を勤めるのも、それは亡くなった人の生き方に思いをはせ、自分の生き方を見つめ直す大切な機会なのです。

令和五年 法事表

一周忌	令和四年	寂
三回忌	令和三年	寂
七回忌	平成二十九年	寂
十三回忌	平成二十三年	寂
十七回忌	平成十九年	寂
二十三回忌	平成十三年	寂
(二十五回忌)	平成十一年	寂
二十七回忌	平成九年	寂
三十三回忌	平成三年	寂
(三十七回忌)	昭和六十二年	寂
五十回忌	昭和四十九年	寂

※詳しくはお寺にお尋ねください。

一月の常例布教(ご法話)のご案内

○前期 一月九日(月)～十一日(水)

石川教区 江南組 本光寺

講師 八幡 真衣 師

○後期 一月十三日(金)～十六日(月)

福岡教区 福岡組 善照寺

講師 七里 誓路 師

○場所 小樽別院内

○時間 午後二時(法要終了後)～

午後三時半

浄土真宗のみ教えについて布教使にご法話をして頂きます。

どうぞお誘い合わせ頂き、ご聴聞に来院ください。席の間隔を保ち、換気実施の上、お待ちしております。

発行所

☎047-0017

小樽市若松一丁目四番十七号
本願寺小樽別院

電話 (0234) 221107 四四番
FAX (0234) 291140 八〇番
テレホン法話 271161 六一六番